LOOK EAST

ドライブレコーダー LE-DCR04-GPS

取扱説明書 兼 製品保証書

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このマニュアルでは、操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の前にかならずお読みください。また、本マニュアルは保証書も兼ねております。読み終わったら大切に保管ください。

⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

⃠ 「してはいけない」ことを示します

❗ 「しなければならないこと」を示します

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください

⚠警告

⃠ **運転者は走行中の操作または、表示を注視しないでください。**
運転中にボタンの操作をしたりSD カードの出し入れをしないでください。また、画面の表示を注視しないでください。けがや事故の原因になります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。

⃠ **分解、修理及び改造しないでください。**
分解・修理、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。修理は販売店に依頼してください。

❗ **コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回してください。**
コードは視界の妨げやアクセル・サイドブレーキレバー・クラッチ・ブレーキペダル・足などに巻き付かないよう、付属の配線留め具を使用し、まとめたり固定しておくなどしてください。

❗ **指定のバッテリーを使用してください。**
お使いになれるバッテリーは搭載の専用バッテリーのみです。市販のバッテリーは使用しないでください。

⚠危険

⃠ **故障や異常のまま使用しないでください。**
万一、故障や異常（異物が入った・煙が出る・異臭がするなど）が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店に相談してください。そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります

⃠ **バッテリーは火中に投入しないでください。**
バッテリーは火中に投入しないでください。火災ややけどの原因になります。

⃠ **SDカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。**
あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師へご相談してください。

❗ **指示に従って設置・配線してください。**
本書の「取り付け方法」に従って正しく設置・配線してください。事故や火災、けがの原因になります。

⃠ **水中では使用しないでください。**
本機は水中での使用を保証したものではありません。水の中では使用しないでください。故障の原因になります。

⚠警告

⃠ **運転や視界の妨げになる場所に絶対に取り付けないでください。**
前方・後方の視界の妨げになる場所へは絶対に取り付けないでください。事故やけがの原因になります。

⃠ **エアバッグのカバー部分や動作の妨げになる場所に、絶対に取り付けないでください。**
エアバッグのカバー部分や、動作時にエアバッグに当たる恐れのある場所には取り付けないでください。エアバッグが正常に作動しなかったり、動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

❗ **はずれたり、落下しないよう、しっかり取り付けてください。**
ネジがゆるんでいたり、固定が弱いと、走行中にはずれる・落下する等、事故やけがの原因になります。

❗ **取り付けには付属の部品を使用してください。**
取り付けの際には必ず付属の取付マウントを使用してください。指定のマウント以外のマウントや改造したマウントを使用すると、落下等により事故やけがの原因になります。

❗ **細かい部品等は乳幼児の手の届かないところに保管してください。**
付属品には、小さな部品が含まれます。使用しないときは乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込む等の事故の原因になります。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠注意

⃠ **挿入口に手・指を入れないでください。**
手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。特に乳幼児にご注意ください。

⃠ **水をこぼしたり、濡れた手でさわらないでください。**
表示部が開いているときや、各ケーブル接続端子が剥き出しのときなどは、防水効果が得られません。このような場合に水に濡らす、濡れた手で触る等しないでください。火災・感電、故障の原因となることがあります。

⃠ **コードを傷つけないでください。**
コードを挟んだり切ったりしないでください。通信異常の原因になるばかりでなく、断線やショートにより、火災・感電、故障の原因になることがあります。

⃠ **機器内部に異物を入れないでください。**
本機の内部に金属物や燃えやすいものが入ると、故障や感電、火災等の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

⃠ **落下させたり、強い衝撃を与えないでください。**
本機に強い衝撃を与えないでください。故障・けが等の原因になることがあります。

⃠ **エンジンを止めた状態で長時間使用しないでください。**
バッテリーが上がり、エンジンが掛からなくなることがあります。

⃠ **高温になる場所に長時間放置しないでください。**
炎天下や高温になる場所に長時間放置しないでください。故障・破損の恐れがあります。

⃠ **薬品類をかけたり、薬品類の付いた手で触らないでください。**
ガソリンやエンジンオイル・洗剤類などの薬品が本機に付着しないようにしてください。破損・変形、故障の原因になることがあります。

注意事項

- 本機は、舗装された公道を走行する車両に取り付けて使用するものです。オフロード等の舗装されていない道路を走行する車両や競技車両には使用できません。
- LED式信号機を映した場合、信号が点滅または消灯して映ってしまうことがあります。これはLED信号の同調によるもので、故障ではありません。またこれらについて、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本機で記録した内容は、個人として楽しむなどの他、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本機で記録した内容は、使用方法によって、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。

本体の取り扱いについて

- ドライブレコーダーは事故を防止する装置ではありません。また、状況によっては映像・画像ファイルが記録されない場合があります。
- 本体は精密機器です。絶対に落下させないでください。落下した製品は使用しないでください。
- カメラレンズの汚れを拭き取る場合は、クリーニングクロス等を使い、爪を立てずに指の腹で軽く拭いてください。
- 運転中に本機の操作や画面を注視しないでください。
- 車両のバッテリーが少なくなっている場合、画像が記録されない場合があります。
- ホコリや振動が多い場所に本機を長時間放置しないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならない場合は、バッテリーとSDカードを本体より抜き出してから、風通しのよい場所に保管してください。

SDカードの取り扱いについて

- SD カードは精密品です。落下・水濡れ・静電気に十分注意してください。持ち運ぶときは市販のハードケースに入れてください。
- SD カードは消耗品です。定期的に新しい物と交換してください（使用期限は各 SD カードのメーカーの保証回数によります）。保証回数を超えた SD カードを使用すると、正常にファイルが記録されない場合があります。
- SD カードを抜き差しするときは、必ず電源をお切りください。電源が入ったまま、SD カードを抜き差しすると、SD カード内のデータを破損する恐れがあります。
- 本機で使用する SD カードを他の機器で使用しないでください。他の機器のデータが入っている SD カードを使用すると、本機が誤動作を起こすことがあります。
- SD カードのフォーマットを行う際は、ファイルシステムを FAT16 または FAT32 形式で行ってください。
- すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。SDカードによっては正常に動作しない場合があります。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本機の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、本機の故障などにより、撮影が記録されなかった場合、および、撮影記録されていたデータが変化・消失した場合、その内容の補償はできません。
- 不適切な使用及び装着、改造による事故について、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機をイタズラ等、他人の迷惑となる行為に使用しないでください。弊社は一切の責任を負いません。

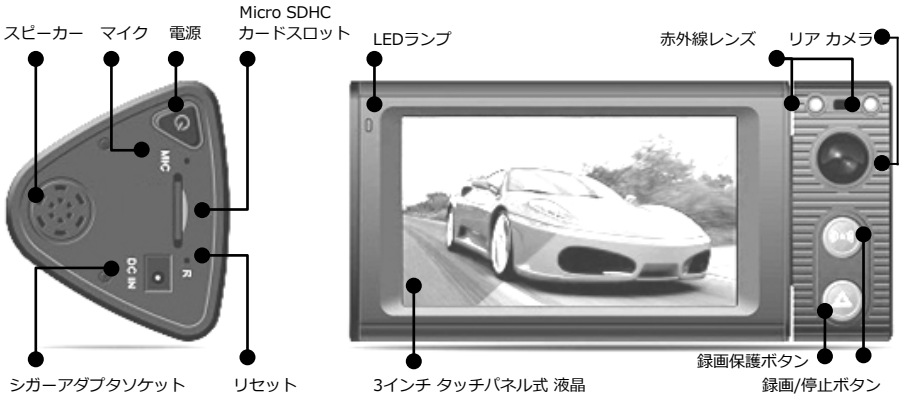
パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。お使いになる前に、すべてが揃っているかを確認してください。
なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などございましたら、すぐにお買い上げの販売店または当社までご連絡ください。

- 本体
- 車載マウンタ
- シガープラグアダプタ
- GPSケーブル
- GPS設置用シール
- USBケーブル（USB[A] – Mini USB）
- 配線留め具
- 説明書/保証書（本書）

※ SDカードは同梱していません。別途お買い求めください。

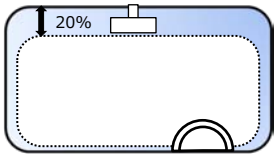
本体説明



取り付け説明

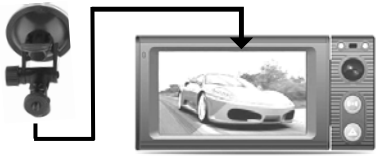
取り付け時の注意

- フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ワイパーの拭き取り範囲内にとりつけてください。
- ルームミラーの操作に干渉しない場所に取り付けてください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。



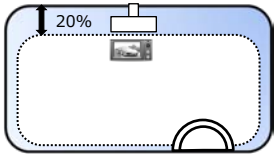
接続する

1 本体と車載マウンタを接続します。



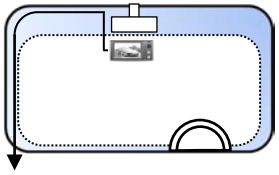
各所のネジをしっかりと固定してください。

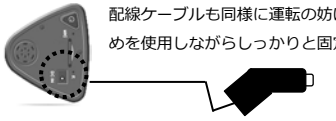
2 本体をフロントガラスに設置します。



上記の取り付け位置に注意しながら、運転の妨げにならない箇所に設置してください。また、吸盤はノズルをしっかりと下ろし、固定させてください。

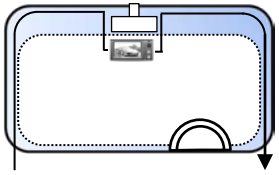
3 シガープラグアダプタを本体に接続し、配線留め具を使用してケーブル配線を行う。

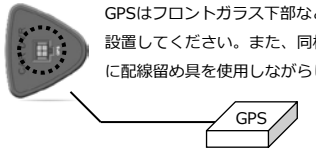




配線ケーブルも同様に運転の妨げにならない位置に配線留めを使用しながらしっかりと固定させてください。

4 GPSケーブルを本体に接続し、フロントガラス下部に設置してください。





GPSはフロントガラス下部など、衛生の受信しやすい場所に設置してください。また、同様に運転の妨げにならない位置に配線留め具を使用しながらしっかりと固定させてください。

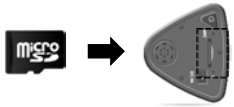
5 最後に、シガープラグアダプタを車に接続し、エンジンをスタートさせ、起動することを確認してください。

起動チェック

最初に・・・

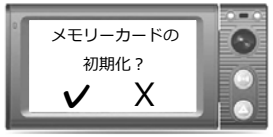
ご利用の前にGPS機能を正常に作動させるため、以下の手順で設定を行なってください。

1, Micro SDHC カードを本体に挿入してください。
（挿入前にカードの向きをご確認ください）



2, 本体を起動してください。

3, 起動後、下記の画面が表示されます。



✓ をタッチして初期化を行なってください。

※ 初期化されると Micro SDHC カードには、専用ビューアーソフト『JPlayer』が記録されます。

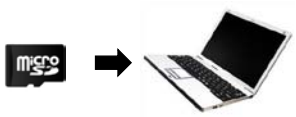
：注意：
※ Micro SDHC カードは、4GB～32GBのみ対応となります。

※ 録画されたデータは、専用ビューアーソフト『JPlayer』でのみ再生することができます。

※ 『JPlayer』が正しく作動されない場合、録画されたデータを損失することになる為、重要なデータは必ずバックアップを取り、大切に保管してください。

※ 新たな Micro SDHC カードをご利用になる度に、この作業を行う必要があります。

4, 本体より、Micro SDHC カードを抜き、パソコンで読み込んでください。



以下を満たしたパソコンをご利用ください。
・解像度 1024 x 768 ピクセル以上が表示できる Microsoft Windows XP、Vista 、7 を搭載したパソコン。
・Micro SDHC カードを読み込むことができるUSBソケットを内蔵したパソコンまたはカードリーダー。

5, 『DR_DISK』を展開し、『JPlayer』をダブルクリックして起動してください。

6, 以上の操作で、GPS が正常に認識されるよう設定されます。

『JPlayer』や『GPS』が正常に認識されていない場合、画面上部に以下のマークが点滅表示します。

※ 3 の Micoo SDHC カードの初期化を行った後にも、このマークが表示されます。

上図のマークが表示された場合は、再度『手順1』より設定を行ってください。

デュアルレンズについて

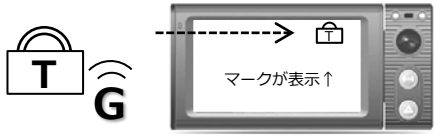
本製品には、2つのカメラを搭載しています。
車の前面を映すフロントカメラは固定式となっており、車内を撮影できるリアカメラは回転式となっています。

またリアカメラは右図のように回転させ、前面を撮影することも可能です。この際、カメラは逆さに録画されますが、専用ビューアーソフトを使用して180度回転させて表示させることができます。

専用ビューアソフトのメニューバーより、180度回転表示ボタンをクリック。

※ 専用ビューアーソフト「JPlayer」再生画面

衝撃検知「Gセンサーについて」



本製品に搭載される「衝撃検知機能 Gセンサー」は、大きな衝撃を受けた場合、自動で録画中のデータをロック（上書き防止）することができます。
これにより、事故などで操作ができない場合でも、上書きによるデータ損失を防ぐことができます。

※ 録画中は色別に異なるマークで表示されます。これらのマークはビューアーソフトにも反映されます。

（黄色） 手動でロックした場合

（水色） Gセンサーにより自動でロックされた場合

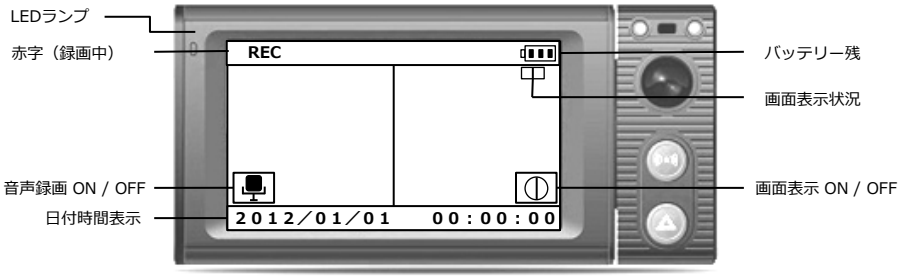
（赤色） Gセンサーと手動ロックの両方が行われた場合

：注意：Gセンサーは録画中のみ作動します！
録画をしていない状態では、Gセンサーは作動しません！

Gセンサーはメニュー画面にて、「設定オフ」及び「感度の調整」も行うことができます。

録画機能について

本体に電源が供給されると自動で起動し、録画を開始します。
録画は手動でも行うことができ、大事なデータはワンタッチでロック（上書き防止）させることができます。



音声録画を停止、再開させることができます。　画面表示を消すことができます。

※ 録画時は「REC」及び左上の「LEDランプ」が赤く点滅します。

：注意：メモリーカードを挿入してから操作してください！
Micro SDHC カード を挿入していない場合、起動直後に「カードなし」と画面に表示され、メニュー等を操作することができません。予め Micro SDHC カードを挿入した上で操作いただけますようご注意ください。

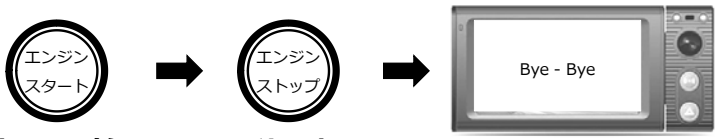
常時録画について

本製品は、車のエンジンを始動している間、常時録画を行う製品となります。
予め挿入している Micro SDHC カード の容量がいっぱいになると、自動で最初から上書き録画を行う為、メモリーカードの容量に関わらず、繰り返し常時録画を行うことができます。

繰り返し連続録画！

：注意：
Micro SDHC カードは、4GB～32GBのみ対応！

また、録画される期間は、車のエンジン始動時に開始され、エンジンを停止した後も30秒間録画を行います。
その後、本体の電源が自動でオフになる仕様となっています。



録画開始　**30秒間録画**　**電源オフ**

基本操作

録画を自動で開始する

本製品は起動（通電）と同時に録画を開始します。（Micro SDHC カードが挿入されている場合のみ）

録画を手動で開始する

録画を開始する場合は、((●)) ボタンを押してください。（録画停止中のみ）

ロック状態で録画する

ロックした状態で録画を開始する場合は、△ ボタンを押してください。（録画停止中のみ）

録画を停止する

録画を停止する場合は、((●)) ボタンを長めに押してください。（録画中のみ）

録画を再開する

録画を再開する場合は、((●)) ボタンを再度長めに押してください。（録画停止中のみ）

ロックする

録画中のデータをロックする場合は、△ ボタンを押してください。（録画中のみ）

メニューを開く

メニュー画面を開く場合は、画面左下のリペアマークを押してください。（録画停止中のみ）

データを再生する

録画したデータは画面右下の再生マークを押してください。（録画停止中のみ）

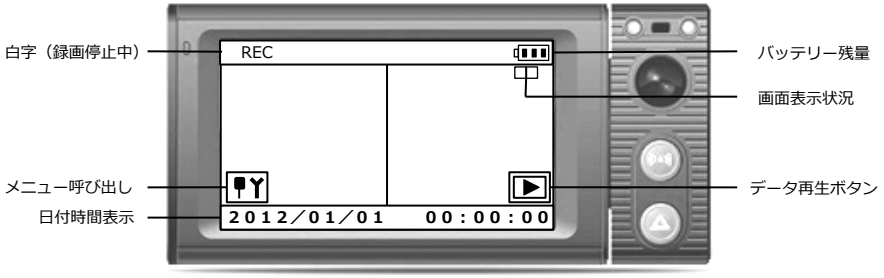
音声録画を停止する

音声録画を停止する場合は、画面左下の音声マークを押してください。（録画中のみ）

画面表示を消す

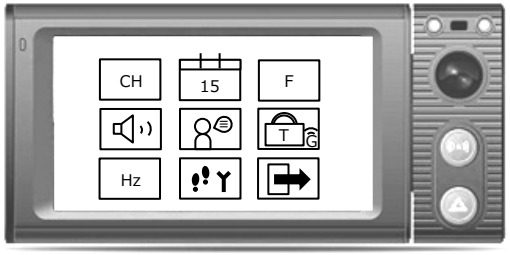
画面表示を消したい場合は、画面右下の○マークを押してください。（録画中のみ）

メイン画面



※ 本製品はタッチパネル式となっています。操作は各ボタンをタッチして行うことができます。

メニュー画面



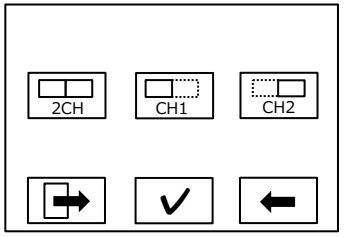
トップへ戻る

決定

前のページへ

CH 画面表示を変更する

画面表示を「2分割」「フロントカメラのみ」「リアカメラのみ」のいずれかに変更できます。



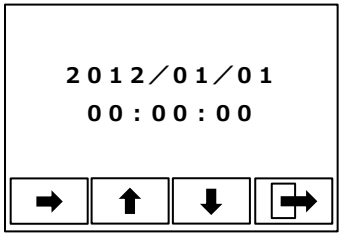
2CH　2画面表示

CH1　1画面表示（左：フロントカメラ）

CH2　1画面表示（右：リアカメラ）

15 日時を設定する

日付、時間の設定を行います。



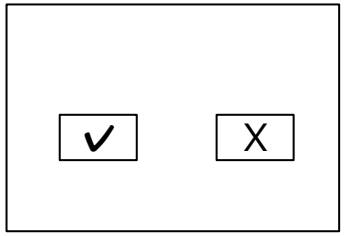
数値の変更を行います。

選択欄の変更を行います。

メニュー画面 つづき

F メモリーカードを初期化する

保存されているデータをすべて消去します。

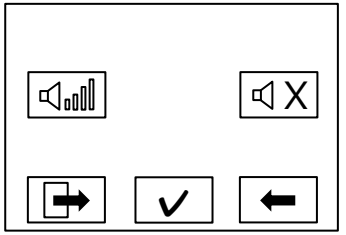


初期化します。

初期化しません。

電子操作音を設定する

電子操作音の有無を選択します。

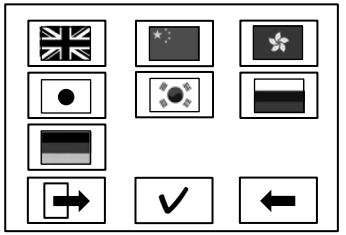


操作音を出します。

操作音を消します。

言語を設定する

操作時の言語を設定します。



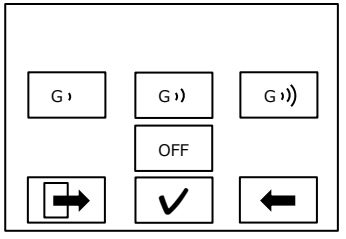
英語　簡体字　繁体字

日本語　韓国語　ロシア語

ドイツ語

Gセンサーを設定する

衝撃を検知するGセンサーの機能オフ及び感度を設定します。



感度「弱」に設定します。

感度「中」に設定します。

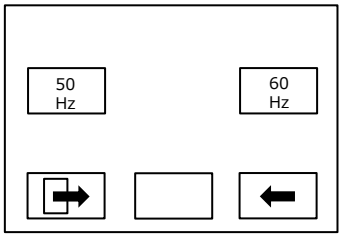
感度「強」に設定します。

OFF　Gセンサー機能をオフにします。

メニュー画面 つづき

Hz 周波数を設定する

お住まいの地域の電源周波数を選択してください。

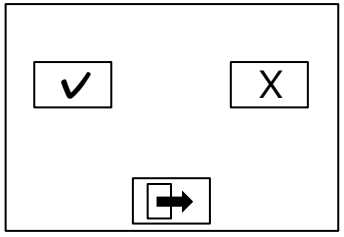


50 Hz　50Hzにします。

60 Hz　60Hzにします。

設定を初期化する

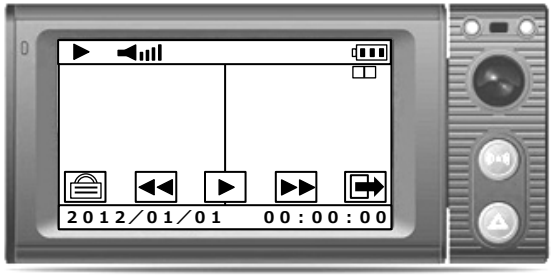
設定を工場出荷時に戻します。



✓　リセットします。

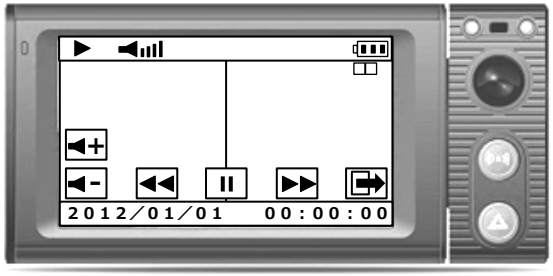
X　リセットしません。

データ再生画面



- 録画データのロック及び解除
- 次のデータへジャンプ
- 再生開始
- 前のデータへジャンプ
- 戻る

※ データのロック及び解除は専用ビューアーソフトからも行うことができます。
※ 再生ボタンを押すと以下の再生画面に移ります。



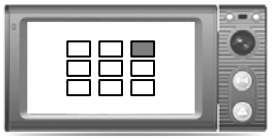
- ボリュームアップ
- ボリュームダウン
- 次のデータへジャンプ
- 一時停止
- 前のデータへジャンプ
- 戻る

専用ビューアーソフトについて

本機で録画した映像は、専用ビューアーソフトを使用してパソコンで閲覧することができます。

専用ビューアーソフトを保存する

1　本体を使用して「メモリーカードの初期化」を行なってください。



本体を起動させ、画面左下のドライバーをタッチして『メニュー』を開きます。
上段右側の F をタッチして『メモリーカードの初期化？』の画面で チェック ボタンをタッチします。

※ 本体を使用して初期化を行うとデータを消去すると同時に、挿入している メモリーカード内に専用ビューアーソフト「JPlayer.exe」が保存されます。

2　パソコンで読み込む

本体から Micro SDHC カードを取り外し、パソコンで読み込みます。
エクスプローラなどを起動させ『DR-DISK』と表示されているドライブを展開し、
右図の『JPlayer.exe』をダブルクリックすると『JPlayer』が開きます。

JPlayer.exe

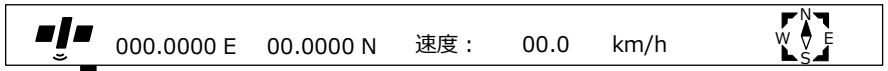
専用ビューアーソフトのご利用は以下の仕様にご注意ください。
・解像度 1024 x 768 ピクセル以上が表示できる Microsoft Windows XP、Vista 、7 を搭載したパソコン。
・Micro SDHC カードを読み込むことができるUSBソケットを内蔵したパソコンまたはカードリーダー。

専用ビューアーソフト『JPlayer』メイン画面

①：情報バー
②： Gセンサー
③：保存データ 1
④：メニューバー
⑤：フロントカメラ
⑥：リア カメラ
⑦：Googleマップ
⑧：保存データ 2

専用ビューアーソフト『JPlayer』：情報バー

緯度、経度、速度、方位の確認ができます。



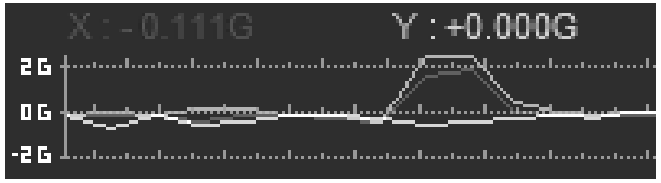
情報バーでは、緯度、経度、速度、方位、の確認ができます。

また、その下には、再生する映像が表示され、情報バー右にある画面切り替えボタンより、
表示画像を変更することができます。

2画面表示
フロントカメラのみ表示
リアカメラのみ表示

専用ビューアーソフト『JPlayer』：Gセンサー

衝撃検知機能を設定し、グラフで確認できます。



衝撃を検知して、録画シーンを自動でロックするGセンサー。

専用ソフトでは、グラフで表示されるため、衝撃を受けた場所が一目で確認できます。
また、メニュー設定でセンサーの感度を調整することもできます。

専用ビューアーソフト『JPlayer』：保存データ1

詳細データを一括編集

ID	解像度	時間を開始	長さ	最適サイズ
001	2CH	2012/05/18 00:01:56	00:10:05	518 MB
002	2CH	2012/05/18 23:56:20	00:05:35	238 MB
003	2CH	2012/05/18 00:12:44	00:00:01	1 MB

保存データ1では、撮影時間やデータ容量などの詳細を表示。不要なデータの削除など一括で行うことができます。

専用ビューアーソフト『JPlayer』：保存データ2

保存データを一覧表示

ID	日付/時間
G1-1	2012/06/04 17:13:43
G2-1	2012/06/04 17:14:50
G3-1	2012/06/05 17:18:47
G4-1	2012/06/05 19:28:28
G5-1	2012/06/05 19:28:48
G6-1	2012/06/05 20:46:13
G7-1	2012/06/06 09:24:47
G8-1	2012/06/06 09:26:12

保存データ2では、撮影した日付、時間順に一覧で表示を行います。
ロックされたデータも一覧表示にマークでお知らせします。

T（黄色） 手動でロックした場合

G（水色） Gセンサーにより自動でロックされた場合

G M Gセンサーと手動ロックの両方が行われた場合

専用ビューアーソフト『JPlayer』：マップ

走行ルートも表示、Googleマップとの連動

本製品は「Googleマップ」との連動により、再生ソフトを使用した際に、走行ルートを確認することができます。

また、再生画面と共にマップを移動する為、簡単に走行場所を把握することもできます。

：注意：GPSを接続してください！
Googleマップとの連動は、付属のGPSにより走行ルートを認識しています。
GPSを接続していない場合、マップは表示されませんのでご注意ください。

専用ビューアーソフト『JPlayer』：メニューバー

オープン　：ファイルを開きます。
（セーブしたデータはこちらから開くことができます）

スナップショット　：表示画面を撮影します。
（画像として保存することができます）

セーブ　：表示しているデータを保存します。
（重要なデータはセーブして大切に保管してください）

削除　：表示しているデータを削除します。
（削除したデータは復帰できません。よくご確認の上、削除してください）

設定　：ファームウェアの更新、パスワード設定、言語設定などを行えます。
（用途に合わせて設定を行なってください）

スローモーション

ストップ

プレー

早送り

ボリューム調整

繰り返し：リピート再生のオン・オフを設定します。

180度回転：映像を180度回転させて表示させることができます。

KML：データのバックアップを保存できます。

地図：地図の表示を消すことができます。

Gセンサー：Gセンサーグラフ表示を消すことができます。

ビデオリペア：壊れたデータを修復することができます。

アンロック：ロックされたデータを解除することができます。

画面表示：画面表示を大と小で選択することができます。